

# 静岡大学食品・生物産業創出拠点 第66回研究会

静岡大学 MC農学専攻1年 特別講義「生物産業特論」

## 食品・生物産業における新事業創出

～AI×食品・生物産業～

2026年5月27日(水) 13:30～17:00

静岡市産学交流センター6F B-nest プレゼンテーションルーム

静岡市葵区御幸町3-21 電話054-275-1655

### 講演

13:30～14:15

①「AI×データが変える食品・生物産業の未来 —新しい知識産業への転換—」

静岡大学情報学部 情報科学科 教授 峰野博史 氏

14:15～15:00

②「食品(惣菜)製造におけるAIとロボット活用」

一般社団法人 日本惣菜協会

AI・ロボット推進イノベーション担当フェロー 荻野 武 氏

15:00～15:10 休憩

15:10～15:55

2026年度農芸化学技術賞受賞講演

③「フェアリー化合物AOHの化粧品原料としての実用化」

三菱商事ライフサイエンス株式会社

化粧品事業部 開発グループ マネージャー 青島 央江 氏

企業会員ショートプレゼン (10社程度を予定)

16:00～17:00

懇親会 17:20～ (ペガサート3F)

### ＜参加費＞

講演・企業プレゼン

会員・後援団体 無料、一般 1,000円

懇親会

会員・後援団体 3,000円、一般6,000円

### ＜参加申込、お問合せ先＞

静岡大学食品・生物産業創出拠点 事務局

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

TEL:054-238-4631

FAX:054-238-3018

Email:hiraoka.sachiko@shizuoka.ac.jp

＜参加申込期日＞ 2026年5月18日(月)



### 会場へのアクセス

JR静岡駅北口から徒歩5分

# 講演概要

## 講演1. AI×データが変える食品・生物産業の未来

### —新しい知識産業への転換—

静岡大学情報学部 情報科学科 教授 峰野 博史 氏

#### 概要

近年、AIやIoTの発展により、農業・水産業・食品産業などの生物関連分野でもデータ活用が進みつつあります。画像データや環境センサ、作業履歴などの多様なデータをAIで解析することで、生産性向上や品質管理の高度化、新たなサービス創出の可能性が広がっています。

本講演では、食品・生物産業におけるAI活用の最新動向を概観するとともに、農業・水産分野の具体的事例を紹介し、AIとデータを基盤とした次世代の研究・産業モデルについて議論します。

## 講演2. 食品(惣菜)製造におけるAIとロボット活用

一般社団法人 日本惣菜協会

AI・ロボット推進イノベーション担当フェロー 荻野 武 氏

#### 概要

食品製造におけるレガシーAIの活用と生成AIの活用について具体的事例をご紹介させて頂くとともに、製造業でもっとも従事人口が最も多いにも関わらず、機械化が諦められていた惣菜製造工程のロボット化について、経産省、農水省国プロでの具体的開発事例をお話しさせていただきます。

## 講演3.

三菱商事ライフサイエンス株式会社

化粧品事業部 開発グループ マネージャー 青島 央江 氏

#### 概要

この度、静岡大学農学部 河岸洋和特別栄誉教授と連名で「農芸化学技術賞」を受賞いたしました。1924年に設立された日本農芸化学会は、生命・食・環境分野の基礎から応用研究を行う日本を代表する学術団体で、バイオテクノロジー関連としては最大規模です。農芸化学技術賞は1968年に創設されましたが、静岡大学、当社ともに初の受賞となります。静岡大学で生まれた研究シーズが社会実装された功績が認められての受賞であることから、本研究会で皆様にもご紹介したいと思い、今回講演の機会を頂きました。